

# 平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式)

## 3 2回目評価

学校名( 大枝中学校 )

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成27年1月5日	評価日	平成27年2月13日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校関係者評価に よる意見
1	確かな学力	授業改善 コミュニケーション能力の育成	研究授業を年間7回を予定しており、11月からは模擬授業も行っている。 各教科で、グループ活動を取り入れて、他者との考えの擦り合わせ言語活動の充実を図っている。	生徒の聴く・考える・話す様子の変容。学習確認プログラム等の結果。 特に3年生では、授業での指導法の影響から5教科の表現についてのよい点とが2.5～10%ほど高い。1年も数%高	⇒	・授業の中で、人の話を聴き、そのことについて自分の考えを述べる等を継続して行うことで、子ども自身の中に学習内容が言葉として定着し、自身の言葉でそのことを表現できる能力が身についてきている。学習確認プログラム等の結果から「話す」「書く」力がついていると思う。 1、2年生では教科により、その成果が違うので、全てにおいて継続する必	1、2年生においては、授業での学習課題の設定や他者の話を聞いてそのことについて自分の意見を話すことなど、授業のあり方を再確認の必要がある。また、課題はハードルの高いものに設定することも考えることで、「思考・表現」が伸びることが期待される。	⇒	・やはり学年が進むにつれて、授業改善の成果が出ているようである。また、3年生が「聞く・書く」だけでなく、各教科での「思考・表現」についても上級学年のほうが優れている。 後期は、学校便りも地域に配布していただき、中学校の様子もある程度分かり、ありがたい、次年度は年間を通じて参観等にも参加できるようにしていきたい。
	豊かな心	豊かな心の育成	道徳年間授業計画に従った授業の実施及び人権学活の実施。ボランティア活動や体験活動の実施。	いじめを許さない集団づくり。生徒とのふれあいや対話を大切にしたい取組が行われている。	⇒	・後期も地域でのボランティア活動に参加する生徒も多く、取り組みの成果が見られている。 ・授業の中で、グループ活動を取り入れていることで、クラスの仲間意識が、上級学年ほど高い。 ・次年度は道徳指導の中でも人権の素地づくりを更に進めていく必要がある。	道徳の授業と「命」「もの」を大切にすることを内容と関連付けて実施し、「心を育てる」教育を行なう。	⇒	・後期も地域でのボランティア活動の際には、多くの子どもたちが参加・協力をしてくれて助かっている。 ・グループ活動を取り入れた授業の成果として、全体的に仲間意識が徐々に高くなってきているようである。 ・後期は学校だよりも地域に配布してもらい、以
3	健やかな体	基本的生活習慣 体力の向上	規則正しい生活が出来る。 ・時間を大切にしている。 運動・体力を活用し、生涯スポーツ・体力の向上の活動の推進。	規則正しい生活ができている。時間を大切にしている。 球技大会・体育大会等の行事に積極的に参加している。	⇒	・依然として、ケイタイやインターネット等で生活習慣が乱れてきている傾向にある。 ・2年は部活動の中心として、3年は体育の時間で体をしっかりと動かしていた。	・教科指導のみならず、学活や道徳においてもモラル及びケイタイ等の使用に伴う生活のあり方について実施する。 ・下級生ほど寒い時期にどのようにして体力づくりをするのか指導を行なう。	⇒	・特に中学生で、ケイタイを持っている生徒の割合と日常生活の送り方について気になる。 ・地域でも子どものケイタイの所持と使用について、回覧をまわしたり、子どもと交流する取り組みの中で協力していきたい。
	独自の取組	開かれた学校づくり(適切な行動・情報発信の充実)	・家庭・地域と連携に取り組んでいるか。 ・開かれた学校づくりに取り組んでいるか。	・学校や生徒の様子がよくわかる。 ・学校ホームページのアクセス数。	⇒	・保護者が学校に来れる機会が前期に比べ減った事が要因である。	・次年度は、月1回程度は保護者に学校へ来てもらえるよう計画する。	⇒	・学校だよりも地域に回覧していただき、中学校の様子がわかるようになってきた。また、子どもの頑張っている状況を診てもらうため、地域行事に協力を少し願った

## 4 総括・次年度の課題

・本校で取り組んでいる授業改善における「コ」の字・4人グループを取り入れた学び合いによる学習形態について、保護者及び地域の方々にはその効果について一定の理解を得ている。その説明をより確かなものにするために更に分析・検証を深める必要がある。  
・年間を通じて、保護者や地域の方にも学校行事に出来るだけ出席していただけるように月1回程度行事を計画していく。  
・今年も自転車の乗り方について学校への連絡があったので、自転車通学している生徒もいる関係上、特に自転車の乗り方や交通安全について指導を徹底する。